

○ 本校の概要

本校は、児童383名の規模小学校です。本校のよき伝統と校風を継承しつつ、時代の移り変わりとともに新しい時代のニーズにあった改善を行い、「知」「徳」「体」のバランスのとれた「生きる力」を育成する新たな入四小の教育活動を想像していきます。  
 今年度の校内研究は、「学び合い、高め合い、深め合う入四の子〜2020オリ・パラに向けて〜」と題して、児童のかかり合いの活動の中で体育・外国語活動・道徳・音楽を通して研究を進めています。また平成29年度体力向上モデル校として、『体育・健康教育授業地区公開講座』を実施して、体力向上を目指していきます。  
 また、「学力を高くすることは子どもの未来を拓く」を合言葉に、算数科で授業研究を行い、さらに「入四タイム」で補充、発展学習を行っています。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

| 大項目         | 目標   | 取組内容   | 目標に対する成果指標   | 成果評価 | これまでの取組及び今後の改善策 | 学校関係者記入欄<br>コメント |
|-------------|--|--|--|------|-----------------|------------------|
| 学力向上        | 児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。                                 | 学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。<br>算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。<br>学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。<br>外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成を図っている。<br>授業改善推進プランを、授業に生かす。<br>東京ベーシックドリルの正答率を高める。  | 4: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「基礎学力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、40%以上であった。<br>3: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「基礎学力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、30%以上であった。<br>2: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「基礎学力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%以上であった。<br>1: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「基礎学力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%未満であった。   |      |                 |                  |
| 豊かな心を育む     | 子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。                | 小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。<br>道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。<br>学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。<br>学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。<br>問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。<br>あいさつ運動推進の取組を全学級実施した上で児童ボランティアを推進する。 | 4: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「挨拶をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、30%以上であった。<br>3: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「挨拶をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%以上であった。<br>2: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「挨拶をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、10%以上であった。<br>1: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「挨拶をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、10%未満であった。   |      |                 |                  |
| 体力向上        | 子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。                       | 新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。<br>「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。<br>給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらった「食育」を推進する。<br>体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。<br>体力向上モデル校として、体力向上の取り組みを実施する。(体育朝会・休み時間の活性化・公開講座の取組等)                            | 4: 保護者や地域の方による学校評価アンケート「基礎体力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、40%以上であった。<br>3: 保護者や地域の方による学校評価アンケート「基礎体力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、30%以上であった。<br>2: 保護者や地域の方による学校評価アンケート「基礎体力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%以上であった。<br>1: 保護者や地域の方による学校評価アンケート「基礎体力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%未満であった。   |      |                 |                  |
| 教育環境向上      | 教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。        | 授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。<br>授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。<br>各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。<br>学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。<br>校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。<br>読み聞かせボランティア、図書ボランティア、外国語活動やオリ・パラ等の教育活動で、保護者や地域・関連機関の活用を充実させる。   | 4: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「子どもたちにとって分かりやすい授業をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、40%以上であった。<br>3: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「子どもたちにとって分かりやすい授業をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、30%以上であった。<br>2: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「子どもたちにとって分かりやすい授業をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%以上であった。<br>1: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「子どもたちにとって分かりやすい授業をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%未満であった。                     |      |                 |                  |
| 家庭・地域の教育力向上 | 学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくりまします。 | 教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。<br>地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。<br>学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。<br>家庭学習や読書の習慣化、生活規範意識の向上、読書等について、家庭との連携を密にする。  | 4: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「学校は、子どもたちの成長を家庭と連携して取り組んでいる」に対して「よくあてはまる」のA評価が、30%以上であった。<br>3: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「学校は、子どもたちの成長を家庭と連携して取り組んでいる」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%以上であった。<br>2: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「学校は、子どもたちの成長を家庭と連携して取り組んでいる」に対して「よくあてはまる」のA評価が、10%以上であった。<br>1: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「学校は、子どもたちの成長を家庭と連携して取り組んでいる」に対して「よくあてはまる」のA評価が、10%未満であった。 |      |                 |                  |